

全国高等学校定時制通信制部バレーボール専門部

「大会実施に係る感染防止ガイドライン」について

全国高等学校定時制通信制バレーボール専門部感染予防ガイドラインについては、全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項により、その大会を実施する都道府県高等学校体育連盟のガイドラインに沿って行ないます。全国大会予選会は、その所在地の都道府県高等学校体育連盟バレーボール専門部ガイドラインに従って実施して下さい。

全国高等学校定時制通信制バレーボール大会については神奈川県平塚市で行なわれるため、神奈川県高等学校体育連盟バレーボール専門部発出「主催大会等実施に係る感染症防止ガイドライン」に従って、定時制通信制部バレーボール専門部独自の注意事項を付記し実施します。

以上

第48回全国高等学校定通制バレーボール大会について

① 感染予防対策について

- ・本大会は新型コロナ感染予防対策として高体連ガイドラインに沿って『無観客大会』とします。
(提出済みの大会参加用紙に登録した方以外は入館できません)
- ・大会初日に健康チェックシート(別紙1)(別紙2)を提出して下さい。
- ・入館する際に検温・手指消毒をします。
(体温が37度5分以上の場合は入館をお断りする事もあります)
- ・試合中以外の方は必ずマスクを着用して下さい。

② 大会を通じて

- ・館内での飲食禁止(昼食の予定に関しては各チーム注意してください)
- ・試合中はスクイズボトルまたは蓋付きのペットボトルでの水分補給は可とします。

③ 大会前日

- ・開会式は中止します(生徒入館禁止)
- ・指導者講習会は16:00より行ないます。(受付開始15:00)
- ・代表者会議は17:00より行ないます。

④ 試合当日

- ・試合設定時刻の1時間前より入館可能。
(補助役員に割り振られている学校はその審判をする試合の30分前に集合)
- ・フロアには登録メンバーのみ入場可能。
- ・試合をしている学校の選手でJVAに登録されている者は2階席にて見学可能
(声を出しての応援は控えてください)
- ・宿泊している学校に限り、同一校の試合を見学することができます。

⑤ 試合中

- ・コートチェンジの際、ベンチを消毒してから移動してください。
(消毒用具は大会本部で用意しますが、2階席を使用した場合は各学校にて消毒してください)

⑥ 試合終了後

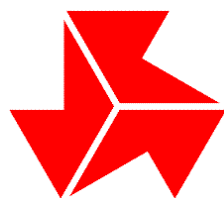
- ・勝利校はその日の試合が無い場合、速やかに退館してください。
- ・敗退校は補助役員終了後、退館してください。

⑦ 閉会式について

- ・閉会式は行ないます(優勝・準優勝・ベスト6個人賞受賞者のみ参加)
- ・3位のチームについては、試合終了後コートにて表彰を行ないます。

⑧ その他

- ・上記については7月3日時点であり、今後の感染状況等によっては変更される場合があります。



主催大会等実施に係る感染症防止ガイドライン



換気しよう



手を洗おう



消毒しよう



うがいしよう



マスクしよう

令和3年3月

神奈川県高等学校体育連盟
バレーボール専門部【改定版】

主催大会等実施に係る感染症防止ガイドライン

令和3年3月
神奈川県高等学校体育連盟

1 はじめに

本ガイドラインは、(公財)日本スポーツ協会が作成した「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき、神奈川県教育委員会保健体育課の指導の下、神奈川県高等学校体育連盟が実施する代替大会や今後の主催大会・各種事業等を開催するにあたっての基準や、感染予防のための留意点、生徒等が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合の対応等をまとめたものです。作成にあたっては専門家(医療関係者)にもご意見をいただいております。

各専門部においては、本ガイドラインや中央競技団体等が作成する各競技別のガイドライン等に従って感染防止対策を徹底し、安全な大会運営に取り組むようお願いします。

なお、本ガイドラインは、新たな感染症対策の情報や、神奈川県の感染状況等により、適宜見直しを行うこととします。

2 県高体連主催事業再開に当たっての基本的な考え方

神奈川県のイベント開催や教育活動の方針に従うとともに、部活動が学校教育の一環であることを踏まえ、次の条件を満たしていることを開催の条件とします。

- ①学校教育活動が再開されていること
- ②部活動が再開され、安全確保の観点から30日程度の練習期間を設けていること
- ③各種目ごとに実施方法(試合形式・入場生徒制限等)を工夫し最大限感染リスクを下げる
- ④参加する生徒や保護者に基本的な考え方やリスクを周知し、理解を得ること
- ⑤大会参加については生徒や保護者の意向を尊重すること
- ⑥感染リスクへの対応が整わないと判断される場合は、中止又は延期すること
- ⑦本県が緊急事態宣言等の対象となった場合は、その内容を総合的に判断し、中止又は延期の検討を行うこと

3 大会開催時の感染防止策について

この内容は、あくまで包括的な事項であり、各大会や種目の特性等を勘案して、適宜、感染拡大防止のための必要な取組を盛り込むこととします。

(1) 全般的な事項

【会場運営役員及び専門部】

- ①感染防止のため各専門部が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所(大会の受付場所等)に掲示すること
- ②次の事項に該当する場合は、参加させないこと(大会当日に書面にて確認を行う)
 - 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛等風邪の症状がある場合)
 - 同居家族等に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③感染症拡大防止の対策を徹底する(例:こまめな手洗い及び手指消毒ができる環境を整備する、定期的な共用場所の消毒及び共用物の消毒を実施する、他の参加者や役員との距離(できるだけ2メートル以上)を取れるよう工夫する等)
- ④各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること

【生徒・顧問・会場運営役員及び専門部】

- ⑤万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、当日の試合開始までに次のような対応を行う
- ・**生徒**は、事前に保護者の承諾と、健康状況を別紙1にて顧問に提出する
 - ・**顧問**は、学校長の指示のもと、別紙2を作成し、当日の生徒及びチームスタッフ等の健康状況を把握した上で別紙2を、大会当日に受付等で会場運営役員及び専門部へ提出する
- ※別紙1を入場者全員は、引率責任者顧問に提出、検温後チーム全員で入場する。提出のない者の試合会場への入場は認めない。
- ※顧問及びチームスタッフ等も別紙1を作成し引率責任者に提出すること
- ・**会場運営役員及び専門部**は、参加役員一覧を作成し当日朝の時点で健康チェックを行う（別紙3） ※非接触型体温計等を活用
 - ・**会場運営役員及び専門部**は、生徒・顧問・役員の体調を書面により確認し、提出された書面や大会当日の時程、待機場所、運営の詳細等を、保存期間（少なくとも30日以上）を定め保存する
 - ・**顧問**は、大会当日の時程、出席生徒・顧問等の行動記録等を、保存期間（少なくとも30日以上）を定めて保存する
- ※別紙1「健康状況チェックシート及び参加確認書」※参加校が保管
（生徒・チームスタッフの健康状況を確認し生徒は保護者の承諾書を含めたもの）
- 別紙2「参加校状況報告書」※専門部が保管
（引率責任者顧問名で参加する生徒と顧問等の状況を把握した報告書）
- 別紙3「大会役員健康状況チェックシート」※専門部が保管
（チームスタッフ以外の役員等の当日の健康状況を把握した一覧）
- ⑥大会に参加する全ての者（生徒・顧問・役員等会場内に入る者）は、競技中以外はマスクを着用する
- ⑦新型コロナウイルス感染症を罹患及び罹患の疑いがある場合の対応は別紙4参照のこと

（２）大会申込時の申合せ事項

- ①生徒・顧問・役員等が次の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること
- ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族等に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - エ 過去14日以内にクラスター発生施設への滞在歴がある場合
 - オ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ②マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する）。
- ③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ④他の参加者や役員等との距離（できるだけ2m以上、競技の特殊性や施設などの事情で困難な場合も少なくとも1～2m）を確保すること
- ⑤大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- ⑥感染防止のために決めた措置を遵守し、指示に従うこと
- ⑦新型コロナウイルス感染症を罹患及び罹患の疑いがある場合の対応 別紙4参照
- ⑧原則無観客で開催すること

（３）大会会場で準備すべき事項

- ①手洗い場所
- ア 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - イ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること

ウ 参加者には、手洗い後に手を拭くためのタオルを各自用意させること

エ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること

②更衣室、休憩・待機スペース

ア 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること

イ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること

ウ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること

エ 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること

※更衣室とは別に飲食場所を用意すること。

※ドアノブなどへの接触回数を減らすために支障のない戸は常に開放しておくこと

③洗面所

ア トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること

イ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること

ウ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること

エ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること

オ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを各自用意させること

④飲食

ア 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること

イ 飲食場所は広さにはゆとりを持たせ、他の者と密になることを避けること

※（飲食は更衣室などせず飲食指定場所です。その際向かい合わず、できるだけ黙食に心がけること）

ウ 大会中の飲食は必要最低限にとどめ、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること

エ 生徒の飲食は、参加校の責任において喫食させ、ゴミはすべて持ち帰らせること

オ 飲料のペットボトル等の共用は厳に慎むこと

⑤会場

ア 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと

イ 換気設備を適切に運転すること

ウ 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと

エ 原則無観客で実施すること

オ 怪我人の処置室とは別に体調不良者用の待機場所を設置すること

※可能な限りカーテンは開放して行うようにする。また、試合間には必ずカーテン、窓を開け換気を徹底する。

※得点板、モップ、その他備品類のこまめな消毒など衛生対応を徹底すること。

※立ち入り禁止場所を明確にする。（大会終了後の消毒等を徹底するため）

⑥ゴミの廃棄

ア 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスクや手袋を着用すること

イ マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること、ゴミはすべて持ち帰らせること

※ゴミは必ず各自で持ち帰ること。（ゴミ箱の設置はしない）

※定期的な換気に加え、夏季など気温の高い時期は空調の活用及び扇風機の併用など熱中症のリスクにも備えること。冬季など気温の低い時期でも窓は常時 10cm 以上開け、試合間は必ず窓を開け換気を徹底すること。

(4) 大会当日の受付時の留意事項

- ①受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- ②発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）
- ③人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテン、フェイスシールドなどで遮蔽すること
- ④受付を行うスタッフには、マスクを着用させること

(5) 大会参加者への対応

①体調の確認

顧問から生徒と顧問等について次の事項を記載した書面の提出を求めること

ア 生徒と顧問等については、学校長の指示のもと、大会参加 2 週間前から各学校で健康チェック等に活用している「健康観察票」等と生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書（別紙 1）で健康状況を把握し、大会当日に受付等で非接触型体温計等を活用し健康状況を報告すること（別紙 2）

また、大会当日の日程、出席生徒の行動記録や住所、連絡先（電話番号）については、各校で把握し、感染が判明した時点で速やかに連絡できる体制を整えておくこと

イ 大会当日の非接触型体温計等を活用した体温確認（受付時の 3 密を回避するため自宅での検温も可とする）

ウ 大会前 2 週間における次の事項の有無（次の症状が数日間継続した時は、医療機関を受診すること。）

- ・平熱を超える発熱（おおむね 37.5 度以上）
- ・咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
- ・だるさ・疲れやすい（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ・嗅覚や味覚の異常

エ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

オ 過去 14 日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合

カ 過去 14 日以内にクラスター発生施設への滞在歴がある場合

キ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②マスク等の準備

ア 参加者がマスクを準備しているか確認すること

イ 参加の受付、着替え、ミーティング、開会式、閉会式、表彰式等の運動を行っていない間については、マスクの着用を求めること

③大会参加前後の留意事項

ア 大会の前後のミーティング等においても、3つの密を避けること

イ 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

(6) 競技上の留意点

①十分な距離の確保

ア 競技の種類に関わらず、運動をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること

- イ 強度が高い競技の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
- ウ 水泳時などでマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をする必要があること（感染予防の観点から、できるだけ2 m以上、少なくとも1～2 mの距離を空けることが適当である）
- ②運動中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと
- ③タオルやペットボトル等の共用はしないこと
- ④飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと
- ⑤競技特性による感染防止については、各専門部の指示に従うこと
 - ※試合前後の握手はエンドラインでの一礼で代替する。
 - ※開閉会式、表彰式は簡易化すること。
 - ※ベンチは通常より間隔を開け3席のみとし、アップゾーンを広めに取り密を避けること
 - ※ベンチはチェンジコート及び試合終了後に当該チームで消毒を行い次のチームに受け渡すこと。消毒のためセット間は4分とする。（削除）（消毒用アルコールは各校で用意すること）
 - ※審判員の笛の管理に注意すること。必要に応じてはホイッスルカバーを使用すること。（不慮の接触を避ける。また電子ホイッスルも可とする）
 - ※試合球は複数個用意し、こまめに消毒を行い交換しながら使用すること（現在のところ、ボールに適用可能となる完璧な消毒方法は判明していないため、ボールに触れた手で顔（特に眼、鼻、口）を触らないように努めることを注意喚起する。また練習、試合終了後に手洗いをを行うように周知する）

（7）生徒が遵守すべき事項

- ①次の事項に該当する場合は、顧問が責任をもって参加を見合わせる（利用当日に書面で確認を行う）
 - ア 試合当日の体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - エ 過去14日以内にクラスター発生施設への滞在歴がある場合
 - オ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ②マスクを持参すること（参加受付時、着替え時、ミーティング、開会式、閉会式、表彰式等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- ③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ④他の参加者、主催者スタッフ等との距離はマスクをしていても（できるだけ2 m以上、少なくとも1～2 m）を確保すること
- ⑤大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- ⑥感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- ⑦大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- ⑧大会の前後のミーティングにおいても、3つの密を避けること
 - ※手洗い後に手を拭くためにマイタオルを持参すること。
 - ※競技中のハイタッチは腕のタッチにとどめること。
 - ※更衣室の滞在時間を短くするために、練習のできる服装での来場を推奨する。
 - ※ラインズマンフラッグ、筆記用具は参加各校で用意し各校で消毒すること。
 - ※タオル、給水ボトル、アイシングパックなどの共用は禁止する。

（８）大会参加者の感染が判明した場合の対応

①大会前

- ア 当該部員、顧問、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない
- イ 団体競技においては、参加申込後の生徒変更を認める
- ウ 個人競技においては、欠場とする

②大会期間中

- ア 大会中に発熱等の症状を訴える者を確認した場合は、当該生徒を安全に帰宅させる
- イ 安全に帰宅できるまでの間、会場にとどまるケースを想定し、他の者と接触を避けられるよう、別室で待機させるなどの配慮を行う

③大会後

- ア 感染者の所属する学校や行政機関の指示に従うこと
- イ 当該の専門部は、速やかに事故報告書を作成し、高体連事務局と感染者が参加した大会当日に会場内にいたすべての者に連絡をすること

（９）その他

- ①会場への移動等は各学校で責任をもって集団感染のリスク（３密の条件）を避けること
- ②今後、社会情勢が大きく変化し、通常の水会生活に戻るなどした場合の対応は、上記の限りではない
- ③（３）～（８）については、各専門部が競技特性に応じて、追加・加筆すること
- ④ガイドラインは県高体連事務局のホームページに掲載しています。必要に応じてダウンロードいただき、ご活用ください。

県高体連ホームページアドレス：<http://www.kanagawa-kotairen.gr.jp>

健康状況チェックシート及び参加確認書（生徒・保護者・顧問）

神奈川県バレーボール専門部版

このチェックシートは神奈川県高等学校体育連盟（以下、高体連という。）が開催する代替大会や各種大会、各種事業等において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報については、参加校が、適切に取り扱い、大会参加者の健康状態の把握、来場可否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。

また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染者患者またはその疑いのある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

◎ 基本情報（生徒・顧問・チームスタッフ・保護者）※該当に○をつけてください

フリガナ 氏名	年齢（ ）	学校名 (所属)
住所	電話番号（大会参加者が未成年の場合は、保護者の電話番号）	
参加当日の体温		
度 分		

◎ 大会前 2 週間前から当日の朝までにおける健康状態

※該当するものに「✓」を記入してください。

ア	平熱を超える発熱（おおむね 37.5 度以上）がない。	オ	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない。
イ	咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状がない。	カ	新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない。
ウ	だるさ、疲れやすい（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない。	キ	クラスター発生施設への滞在歴がない。
エ	嗅覚や味覚の異常がない。	ク	政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない。

（大会参加者が未成年の場合）保護者 確認欄

保護者氏名

印

※ 本健康チェックシートは、参加校が少なくとも 30 日以上保管し、期日経過後は各学校において、責任を持って適切に廃棄処分する。

参加状況報告書

また、参加顧問等の健康状況も良好であることを確認しました。

参加大会名（事業名）_____

開催日 _____月_____日（ ）

参加生徒数 _____ 名

チームスタッフ数(含保護者) 名

学 校 名

顧問名(自署)

新型コロナウイルス感染症を罹患及び罹患の疑いがある場合の対応例

1 大会前の各学校における対応

学校に登校している生徒のみ参加可

【大会に参加する部活動の生徒が罹患した場合】

- ・**校長**は試合参加の辞退を専門委員長に連絡し、専門委員長は高体連事務局に報告する。

【大会に参加する部活動の生徒が濃厚接触者となった場合】

- ・**校長**は、当該生徒等に対して「感染者と最後に濃厚接触をした日の翌日から起算して2週間の出席停止」の措置をとる。
- ・それ以外の指導者、部員で試合参加可。

【学校で罹患者が出た場合】

- ①対応が決定するまでの間の臨時休業中に大会が実施される場合、**校長**は試合参加の辞退を専門委員長に連絡し、専門委員長は高体連事務局に報告する。

- ②臨時休業実施の規模及び期間が決定された場合、該当規模及び、期間に当てはまる生徒の出場はさせない。

※この基準は目安であり、各学校の基準や判断が優先される。

2 大会当日の各会場における対応

(発熱等の風邪症状、息苦しさ、強いだるさ等の症状がある場合)

- ・**顧問**は当該生徒を安全に帰宅させ、症状がなくなるまでは自宅休養するよう指導する。
- ・**顧問**は会場運営役員及び専門部に報告するとともに、自校管理職へ報告し対応の指示を受ける。
- ・**会場運営役員及び専門部**は安全に帰宅できるまでの間、会場にとどまるケースを想定し、他の者と接触を避けられるよう、別室で待機させるなどの配慮を行う。
- ・**顧問及び管理職**は居住する自治体の定めにしたがって、「帰国者・接触者相談センター」や保健所等に相談するよう家庭に連絡し、経過について学校及び会場責任者に継続的に連絡させる。
- ・**会場運営役員及び専門部**は、専門委員長に報告し、専門委員長は高体連事務局に報告する。

3 生徒が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の対応

※各学校での対応

- ・**学校**は保健所の指示に基づき、当該生徒の情報収集、濃厚接触者の特定、他の生徒等及び教職員の健康状態を把握する。
- ・**会場運営役員及び専門部**は、保存している、大会当日の日程、待機場所、運営の詳細等を学校及び保健所に情報提供する。
- ・**顧問**は、保存している、大会当日の日程、出席生徒の行動記録等を学校及び保健所に情報提供する。
- ・**校長**は専門委員長へ連絡し、専門委員長は会場運営役員と状況確認をした後、高体連事務局に報告する。

4 濃厚接触者となった場合の対応

- ・濃厚接触者は「感染者と最後に濃厚接触をした日の翌日から起算して2週間の出席停止」の措置をとる。

⇒濃厚接触者は自宅待機とし、それ以外の指導者、部員で試合参加可。

※濃厚接触とは

患者（各定例）が発生した日の2日前以降に接触したもののうち、次の範囲に該当するものである

- ・患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- ・適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた者
- ・患者（確定例）の軌道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性可能性が高い者
- ・手で触れることまたは対面で会話することが可能な距離（目安として1メートル以内かつ15分以上の接触）で、必要な感染予防対策なしで「患者（確定例）」と接触があった者（患者の症状などから患者の感染性を総合的に判断する）。

令和3年3月5日

神奈川県高体連バレーボール専門部

新型コロナウイルス感染防止対策による大会運営（令和3年度）

1. 集合・会場入場時間について

- ① 役員の集合は8時15分とする。（感染症予防対策チェック及び受付準備）
- ② 引率責任者は生徒及びチームスタッフから健康チェックシートの提出を受け参加校状況報告書を作成し受付に提出すること。その後、スタッフ・選手は受付にて必ず検温を受け全員で入場すること。（感染防止対策を徹底するためチーム全員で入場すること）
- ③ 入場受付時間 ※密を避けるため入場30分以前に会場に集合しないこと。

8:30 第2試合のチーム

8:40 第1試合のチーム

9:00 第3試合のチーム

9:15 第4試合以降のチーム

9:30 監督ミーティング

9:40 キャプテンミーティング

※開始式は行わない。（1試合目のメンバー表は9:30までに本部に提出すること）

- ④ 試合開始設定時刻

試合開始設定時刻 第1試合 9:50

第2試合 10:40

第3試合 11:30

第4試合以降 試合終了後15分後、連続試合は20分後試合開始

- ⑤ 試合前の体育館でのウォーミングアップ（ボールの使用可）

8:40 ～ 9:10 第2試合のチーム

9:10 ～ 試合開始 第1試合のチーム

※その他のチームは体育館フロアには入場をしないこと。

2. 無観客試合について

原則無観客試合とする。

※各校1名の保護者の入場を認める。

- ・保護者はチーム入場と同時に健康チェックシートを提出、検温を行いチームと共に入場すること。（名札等を付けて所属がはっきりとわかるようにすること。）

※体育館内には当該チーム及び補助役員以外は入場させないこと。（フロア・ギャラリー）

※報道関係者等については、健康状況チェックシート（別紙1）を記入の上、検温後入場を許可すること。

3. 注意事項

- ① 会場内では密になることを避け、競技中（ウォーミングアップを含む）以外は必ずマスクの着用をすること。
- ② 大声での応援を禁止する。
- ③ ベンチ以外の応援場所は、フロアスペースに余裕がある場合はベンチの対面に設置すること。（移動時、応援時の密を避け、消毒場所を減らすため）

4. その他

- ・定期的な換気に加え、夏季など気温の高い時期は空調の活用及び扇風機の併用など熱中症のリスクにも備えること。冬季など気温の低い時期でも窓は常時10cm以上開け、試合間は必ず窓を開け換気を徹底すること。

5. 大会会場借用に関する注意事項

- ① 大会会場は早めに（2 か月前）には集約すること。
- ② 会場借用願は1 か月前に送付し学校長の許可を得ること。その際必要であれば専門部ガイドラインを添付すること。

◎会場借用時に会場校へのお願いを確認すること

- ・更衣室とは別に待機場所、飲食場所を定めること。
- ・準備運動の場所を定める等、会場校生徒や職員との接触を極力避けること。
- ・大会終了後の消毒を徹底するため立ち入り禁止場所を明確にすること。
- ・体調不良者待機場所を定めること。
- ・ゴミ箱を撤去すること。

6. 会場責任者

会場校の顧問が専門委員でない場合、専門委員を必ず併記すること。大会終了後は、会場校からの指示の下、専門委員は各校顧問協力の上、必ず清掃や消毒を行うとともに、会場責任者は最終点検を行うこと。

※感染防止対策の役割分担を明確にすること（受付・巡回・体調不良者対応）